

令和3年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業 キックオフミーティング 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備“に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備“に取り組む	
昨年度までの“環境整備“を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備“と“支援チーム派遣(事業化支援)”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：佐渡市

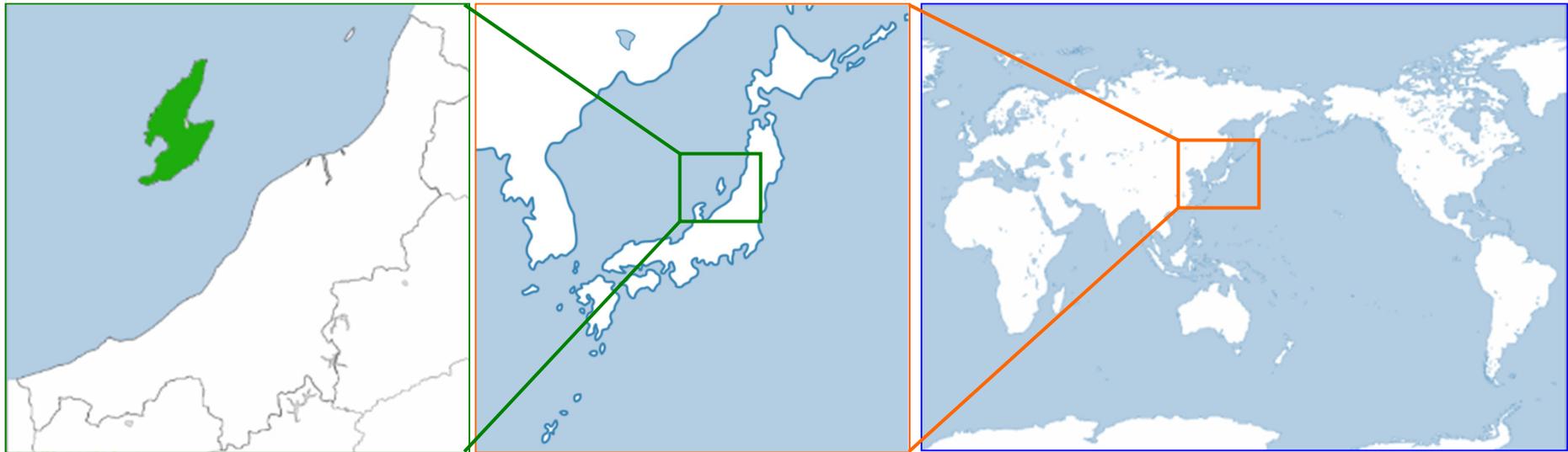
活動地域：佐渡地域

活動におけるテーマ・キャッチコピー

佐渡でふれあういのちのつながり

～人とトキが暮らす島を孫の世代へ～

活動団体紹介



面積	855km ² (東京23区の約1.4倍)	人口	2003年 7.1万人	2021年 5.2万人
広ぼう	東西の長さ 33km 南北の長さ 60km	高齢化率	2003年 33.8% (19.5%)	2020年 42.5% (28.7%)
周囲	280km	合計特殊出生率	2003年 1.67% (1.29%)	2019年 1.49% (1.36%)
最高峰	1,172m (金北山)	市内総生産・実額	2003年 2,454億円	2018年 1,724億円

※カッコは全国平均

ありたい地域の未来を実現するために何をするか

ありたい地域の未来

佐渡の豊かな自然と暮らしの保全・再生

課題（地域の課題、ありたい未来を達成するための障害など）

- ・ トキ・世界農業遺産（GIAHS）・日本ジオパーク・佐渡金山等、それぞれプログラム間の連携による相乗効果が出ていない。各分野ごとの「面」としての広がりにつなげていない。
- ・ 少子高齢化が進む中、現状のキープレイヤも含め、次世代を担う新たなキープレイヤーの発掘が必要。

資源（活用できる地域資源、必要な資源、地域外の資源など）

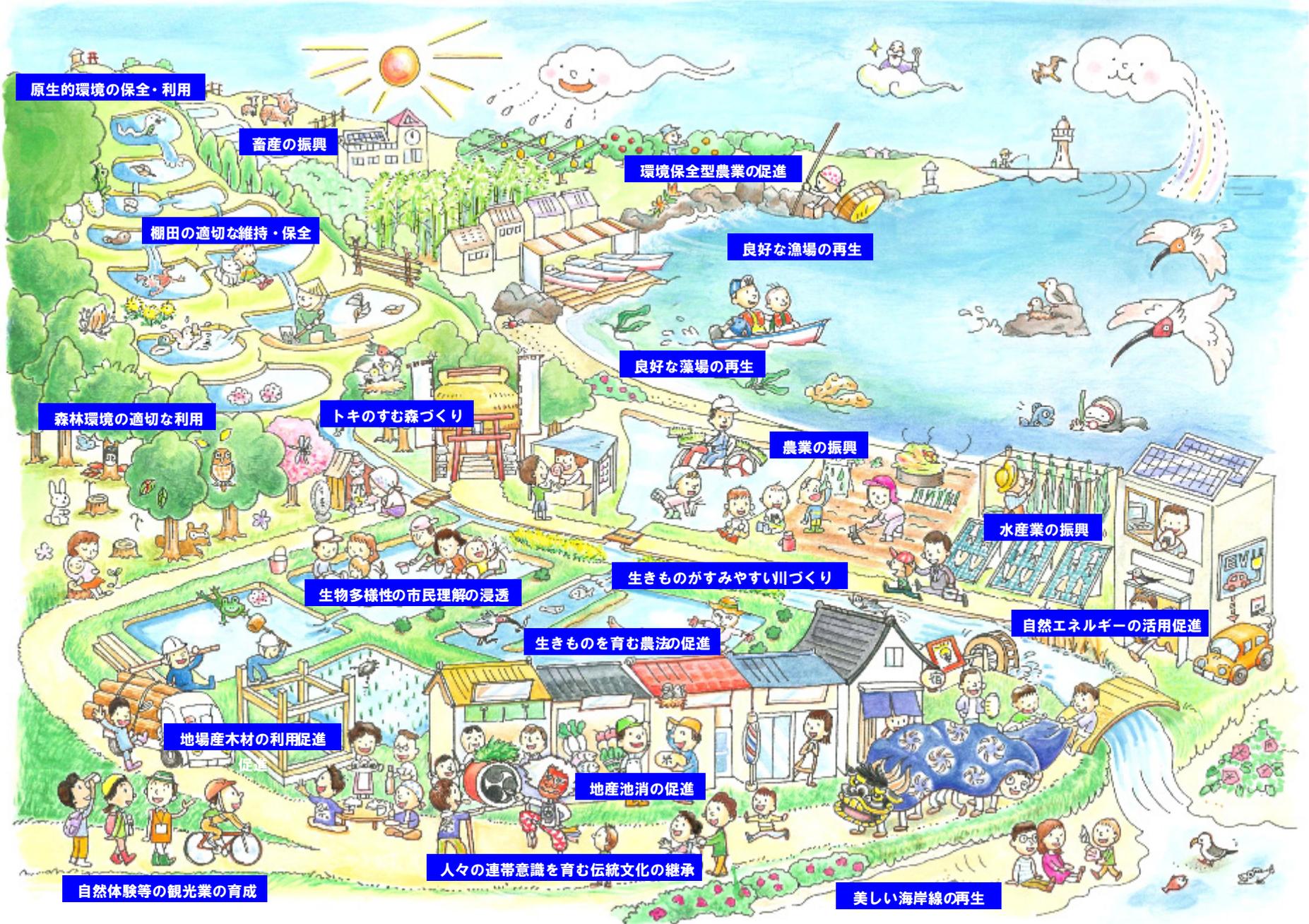
地域内資源…多様なキープレイヤー、認証米等の特産農産物・多様な景勝地、多様な文化・伝承芸能
必要な資源…都市部と連携した産地農家との交流による意識向上、科学的根拠による効果検証

取組（ありたい未来達成に必要な取組、現在想定している事業のタネ）

- ・ 朱鷺認証米の効果検証と多様な活用
- ・ 新たなエコツアー等の実施（GIAHS・トキ等）
- ・ 人材育成と次世代教育
- ・ 各種フォーラムなどを介したプラットフォームづくり

成果（取組によって出したい成果）

- ・ 島に点在する、多様なキープレイヤーをつなぐプラットフォームの構築
- ・ 佐渡SDGs・地域循環共生圏づくりの実践の啓発、理解醸成の場の構築



原生的環境の保全・利用

畜産の振興

環境保全型農業の促進

棚田の適切な維持・保全

良好な漁場の再生

良好な藻場の再生

森林環境の適切な利用

トキのすむ森づくり

農業の振興

水産業の振興

生物多様性の市民理解の浸透

生きものがすみやすい川づくり

自然エネルギーの活用促進

生きものを育む農法の促進

地場産木材の利用促進

地産池消の促進

人々の連帯意識を育む伝統文化の継承

自然体験等の観光業の育成

美しい海岸線の再生

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制

- 農業分野だけでも、生物多様性佐渡戦略推進委員、佐渡地域世界農業遺産推進協議会、朱鷺と暮らす郷づくり推進協議会、人・トキの共生の島づくり協議会等多様な団体がある。
それぞれの団体が、目標に向かって活動を実施中であるが、キープレイヤーは重複している方が多数。
- 上記以外にも、エネルギー、文化、芸能、地質等多様な分野が存在。
また、農業協同組合・交通事業者、教育・研究機関等多数の連携先が存在する。
- 隠れたキープレイヤーの存在、どのように引き出すかが課題

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ

- ・事業統括は、佐渡市長とし、各セクション内外における横断的連携を活用し事業構築
- ・既存活動組織はモデル的事業の推進や普及に努め連携を円滑に取り計らう
- ・島内外の大学、小中学校や高校等との連携、活動支援
- ・自治体間及び国際的な連携

年間スケジュール（参考資料）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			◆キックオフミーティング ←→協定締結（活動予算執行開始）				現地意見交換会		◆中間報告会 ◆中間報告書提出期限			◆成果報告会 ◆活動団体成果報告書提出
ステークホルダー検討会（学生）			関係者検討会		ステークホルダー学習			成果報告 その1 食育事業の転換		ステークホルダー学習		成果報告 その2
フォーラム開催				ステークホルダー検討会			各種 フォーラムの開催		ステークホルダー検討会			
新たなエコツアー			関係者検討会		ステークホルダー検討会		エコツアーの開催					
プラットフォームの構築									プラットフォーム構築検討会		プラットフォーム構築 案策定	